

第 16 回総務経済常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 6 年 2 月 6 日 (火曜)		午後 1 時 3 0 分 開会	
	休 憩 14:06-07 14:14-15 14:16-17 14:35-45			
	午後 3 時 0 1 分 閉会			
	休憩時間：0 時間 1 3 分		会議時間：1 時間 1 8 分	
会議場所	役場 3 階委員会室			
出席委員 氏 名	委員長	正村紀美子	委員	渡辺洋一郎
	副委員長	木村 淳彦	委員	橋本 和仁
	委員	西尾 一則	委員	菊池 秀明
	委員	常通 直人		議長 梶澤 幸治
説 明 員	農林課長	我妻 修一	都市経営課長	佐藤 季之
	畜産振興係長	速水 洋之	都市経営課長補佐	佐藤 史彦
	商工労政課長	仲野 裕司	都市経営係主査	山田 大樹
	工業労政係長	安田 久美	建築住宅係長	杉山真理子
	都市経営課長	佐藤 季之	建築住宅係主査	村上 大助
参 考 人				
欠 席 委 員 氏 名				
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係長 竹川 恭史		
『会議に付した事件と会議結果など』				
1 開 会				
委員長が開会を告げ、菊池委員の遅さんを報告し、事務局から本日の委員会の日程を説明する。				
2 議 件				
(1) 調査事項				
ア 町営牧場の牧草売払いについて 資料 1-1・1-2				
<ul style="list-style-type: none"> ・農林課長：調査事項概要説明。資料は担当係長から説明する旨を告げる。 ・畜産振興係長：資料説明<「資料 1-1 (現状・芽室町営牧場ドローン活用構想概要・例規等の整備)」「資料 1-2 (芽室町営牧場ドローン活用構想)」> ・委員長：意見・質疑はないか？ ・常通委員：牧草売払とドローン活用構想との関係は？ ・課長：牧場作業員の高齢化等の課題解決として、関係機関等と協議・研究し、ドローンを活用することになった。このことにより、効果・効率的な牧場運営を行い、作業員の時間的余剰を活用し、牧草売払業務を充実させていきたい趣旨である。現存のドローンについては、土地改良事業に主に活用しているものである。 ・木村委員：牧場関連の肥料・飼料価格の高騰は、数年前と対比していかほどか？ 				

- ・課長：3年前と比較すると約2割程度の上昇と捉えている。
- ・木村委員：ドローン購入経費は牧場利用料に反映するのか？
- ・課長：現在の利用料金内の設定である。
- ・橋本委員：預託頭数減少の要因分析は？
- ・係長：酪農家数自体の減少が主な要因と分析している。
- ・橋本委員：安価で牧草を処分する理由は？
- ・課長：価格については、牧草の品質等を加味して、関係機関と協議して設定していきたい。
- ・渡辺委員：牧場職員が1、2年で退職してしまう要因分析は？
- ・課長：通年の雇用でないことが一つ。嵐山と光勇があるが、特に嵐山については、土地形状の凹凸が技術的に高度で管理に難易度が高いこともあるかと考える。
- ・渡辺委員：その課題解決にはドローン活用で効果が出ると町は捉えているのか？
- ・課長：一概に課題解決の決定打とは言えないが、業務負担と軽減に寄与する一つの手法と考えている。
- ・渡辺委員：新年度取得備品は町が取得するものか？
- ・係長：町が取得し委託先に貸し出す形である。
- ・渡辺委員：操縦にあたってライセンスが必要か？それとも講習費用の町の助成等の予定はあるのか？
- ・係長：牧場敷地内の操縦にはライセンスは不要。委託先に操縦実績のある職員がいるため、技術伝達で機能させていきたい。新年度予算に研修費用等の計上は考えていない。ただし、登録費用及び賠償保険は予算措置の提案を予定したい。
- ・常通委員：当該予算は当初予算計上か？補正予算か？
- ・係長：当初予算提案として取り進めていきたい。
- ・渡辺委員：今回取得により、農林課で3台保有となる。他課との使用連携は想定しているのか？
- ・課長：課内ではすでに有効にシェアしている。今後は、庁内で有効に活用できるように連携していきたい。
- ・木村委員：ドローン活用の安全確保は並行して検討しているのか？
- ・課長：近隣への安全確保については、黙視できる範囲については特にライセンスは要しないという解釈であるが、安全確保には十分努めていきたい。
- ・常通委員：ドローン活用構想の年次計画の考え方は？
- ・課長：計画期間を特に定めていないが、総合計画の年次に合わせて取り組んでいきたい。
- ・渡辺委員：牧草売払いによる事業収支の改善という記載について、具体的な見込みは？
- ・課長：牧場の使用料ですべて運営できることが目標であるものの、それが実現できていことから、少しでも収支差を少なくできるように取り組んでいきたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で、調査事項「ア：町営牧場の牧草売払いについて」の調査を終了する。

イ 工場立地法に基づく「特定工場」の緑地等面積率の緩和について 資料2

- ・ 商工労政課長：調査事項概要説明。資料は担当係長から説明する旨を告げる。
- ・ 工業労政係長：資料説明（「改正内容」「改正理由」等）
- ・ 委員長：意見・質疑はないか？
- ・ 木村委員：工業団地全体の緑地率の確保は満足しているのか？
- ・ 課長：お見込みのとおり。
- ・ 木村委員：新工業団地への開発について、影響はないものと解して良いか？
- ・ 課長：お見込みのとおり。
- ・ 委員長：他にないか？
- ・ (意見・質疑なし)
- ・ 委員長：以上で、調査事項「イ：工場立地法に基づく「特定工場」の緑地等面積率の緩和について」の調査を終了する。

ウ 芽室町空家等対策計画策定事業について 資料3

- ・ 都市経営課長：調査事項概要説明。資料は担当主査から説明する旨を告げる。
- ・ 建築住宅係主査：資料説明（「計画概要版」）
- ・ 委員長：意見・質疑はないか。
- ・ 常通委員：パブリックコメントの期間は具体的にいつから開始する予定か？
- ・ 主査：2月29日までの1か月間、パブリックコメントを実施中である。
- ・ 常通委員：計画策定の目的は？
- ・ 課長：資料の1ページに記載の「目的」のとおりである。
- ・ 橋本委員：空家対策として除去等補助事業というのは新設か？
- ・ 課長：現行の類似制度として、昭和56年以前の建築物の耐震性確保に関する補助制度はあるが、今回の空家に特化した補助制度は新年度予算に提案したい事項である。
- ・ 木村委員：今後もアンケート調査は継続していくのか？
- ・ 主査：時期を見ながら継続してアンケート調査を実施したい。現地調査も年に1度は定期的に実施していきたい。
- ・ 委員長：他にないか？
- ・ (意見・質疑なし)
- ・ 委員長：以上で、調査事項「ウ：芽室町空家等対策計画策定事業について」の調査を終了する。

エ 公共施設維持管理マネジメントについて 資料4

- ・ 都市経営課長：調査事項概要説明。資料は課長補佐から説明する旨を告げる。
- ・ 都市経営課長補佐：資料説明（「検討課題」「解決策」「令和5年度の実施状況」「令和6年度の方針」）
- ・ 委員長：意見・質疑はないか。
- ・ 常通委員：窓口業務の課題対応について、新年度の取組は？
- ・ 課長補佐：継続して検討していきたい。

- ・木村委員：地域集会施設の修繕について、専門性が高い箇所は行政も関わるという意味か？
- ・課長補佐：お見込みのとおり。
- ・渡辺委員：新年度の「施設の管理・運営に関する検討」とは具体的に？
- ・課長補佐：一例で言えば、大規模地域集会施設に「予約システム」を導入する計画である。こういったシステムを試行的に取り組んでいきたい。また、現行の地域集会施設の管理人業務＜維持管理（清掃等）＞の負担軽減に寄与する部分に取り組んでいきたい。
- ・渡辺委員：地域集会施設の管理人のなり手不足は町内統一の課題と捉えるが、管理人を町で担うことにより、従来の地域集会施設が維持されることを期待して良いのか？
- ・課長補佐：地域集会施設は地域住民が必要とし、自らが管理できることが原則と考える。しかしながら新たな方策の一つとして、その可能性を模索していくための試行と捉えている。
- ・渡辺委員：地域集会施設の管理のあり方について、社会情勢（人口減、高齢化）を鑑みた定義の見直しが必要と考えるがいかがか？
- ・課長補佐：新年度に向けて管理人手当の見直しを検討していきたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で、調査事項「エ：公共施設維持管理マネジメントについて」の調査を終了する。

- ・委員長：自由討議について意見はあるか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：自由討議は意見なしとする。

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日程について
2月13日（火曜）9時30分

(2) その他

- ・委員長：「その他」で各委員からないか？
(なし)
 - ・委員長：議長からないか？
(なし)
 - ・委員長：事務局からないか？
(なし)
- 以上で総務経済常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	2名	議員	1名	合計	3名
令和6年2月6日								
総務経済常任委員会委員長 正 村 紀美子								